

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2013年4月1日

115号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



## ＜レダの川の玄関・第一船着場＞

レダの三月は、雨季も最後のコーナーを周り、日中の猛暑も次第に過ぎ去っていく残暑の時期で、四月になると寝苦しい夜は、いつの間にか消えて行きます。そんな季節のパラグアイ河は、徐々に水位が上がり、ゆったりと流れて大地を潤し、人々にも命の水を与えていきます。レダの船着場の辺りには小菊のような黄色い花が美しく咲いて、空の青と白い雲が水に映り、何とも言えない広い心と安らぎを覚えます。この開拓当初からの第一船着場には、川の水が浅い時期（10月～2月頃）、一週間に一回来る定期船アキダバンや写真のような貨物船が荷物を運んで来る時に立ち寄ります。レダ自前のボートでインディヘナ村の急患をオリンポの病院に4時間かけて運んだり、ゲストを送り迎えしたりする時にも使われます。川の水位が高い時期（4月～8月頃）は、コンクリートのデッキがある海軍警備所近くの第二船着場に大きな船は出入りします。（飯野記）



## 【中田実所長報告】

二月二十七日、レダから一時帰国していた中田所長を迎えて、報告会を行いました。中国では鄧小平の改革開放政策で、最も発展しやすい地の利を持つ深センや上海に経済特区をつくり、今日の世界第二の経済大国になる道を進めました。我々は、誰も顧みない見捨てられた地レダを定めて、「地獄に行つて地獄を開放せよ。」と開拓を始めました。前者は膨大な投資をなし、優秀な人材と技術を投入しました。我々は、限られた資金で、全く素人の者たちが今まで開拓を進めてきました。ジヤトロファモリンガに取り組んだり、何かをなしても成功しかけて失敗し、これもだめ！あれもだめ！と自然が全てを教えてくれました。

如何にして地獄を天国に変えるか、真剣に考え続けると、天から知恵が与えられます。今回のパクー孵化成功は、正に画期的なことで、新しい時代を迎えて勝利したいという執念で、天から導かれました。

人類の食料問題を考えるなら、魚の養殖は、重要だと分かつていても、今まで難しいといふことで、避けて来ました。開拓十周年でレダに来られた神山先生が、「養殖ができる」といふ。「と繰り返し呟かれて行きました。何とかしたいと思つていた時に、滑走路の土盛り上げ作業が業者によつて行われ、彼らは身近な所から土を得るために、滑走路の脇に大きな穴を開けて行きました。これは養殖の池になると利用することになりました。しかし魚をどうするかと願つて、支流の奥地に塞き止められた池が出来、そこに十c m前後のパクが沢山いることを発見、導かれて三千匹ほどを釣り上げて、用意した我々の池に放ちました。また二〇一一年

正月に、五千匹の稚魚をアシンシオン大学の教授の紹介で購入するとともに、養殖の指導に教授をレダに招きました。この時から本格的に養殖へのプロジェクトが勧められました。養殖プロジェクトの最大のポイントは、如何に孵化を成功させて、自力で沢山の稚魚を得られるかにありました。

自然保護のために河に稚魚を放流するプランも、少なくとも数万匹単位で成せなければ、効果はありません。その為にも孵化の成功をしなければなりません。孵化を進める為の施設作りに二〇一一年は努力し、イタイプーダムの養殖場を初め、幾つもの大きな南米の養殖場を視察し、その良いところを取つて、少ない投資で素人集団が孵化設備を準備したのです。そして数回にわたり教授が教えてくれた方法で、孵化を試みてみましたが、ことごとく失敗を繰り返しました。いよいよもう一度教授を招いて教えを請うことにしました。

来られた教授は、「いや、素晴らしい孵化設備だ。」とお褒めの言葉を下さいましたが、六回目の孵化のチャレンジも虚しく良い結果が得られませんでした。

教授曰く、「メスの親魚が充分元気な卵を持っている。」と繰り返し呟かれて行きました。それぞれの池の魚の数も正確には分かつてないし、餌の三分の一ぐらいしか上げていなかつたのかもしれません。産卵前数ヶ月は、特別な栄養食をあげることも知りませんでした。

その後も諦めずに親魚を調べ、二匹を水槽に確保していましたが、昨年十二月三十日、その一匹が七十%位産卵しているのを発見、勿論ですが、それだけでなく、これをしっかりと育てれば、人類の食糧問題解決に一石を投じれると確信します。稚魚を飼う池も、プランクトンが沢山増えるよう準備して対応し、第一回目の稚魚は既に五c m前後に成長、第二回目の成功の稚魚たちは、一~二c mに成長して専門の池で元気に育っています。益々希望を持って頑張つていきたいと思ひます。(文責・飯野)



南米はサツカーネが凄い。

達も老いも若きも熱狂的である。電気のない村では携帯ラジオでしか試合放送を聞けなかつた若者が、この数年、テレビが見れるようになつたレダで、ワールドカップのサッカーの試合に出会つてから、その熱は一気に膨れ上がりました。仕事以外の時間には、直ぐに何人かが集まり、ボーラーを蹴り始めます。今回、知り合いから、スペインのナショナルチームの「ユニフォーム上下」を格安で入手できたので、労働者たち用にお土産として持参しましたが、本当に男性たちも婦人たちもニコニコ顔で喜んでくれました。

写真右  
七百頭からの牛を飼つ  
る奥地の牧童小屋を訪  
そこで働く牧童に贈呈  
写真中  
食事や掃除をしてくれ  
る婦人達もユニフォーム  
贈呈に大喜び。



A group of four women are standing outdoors against a wooden wall. From left to right: a woman in an orange t-shirt holding a pink bag; a woman in a yellow t-shirt holding a pink bag; a woman in a white t-shirt holding a white bag; and a woman in a green t-shirt holding a green bag. Each woman is smiling and appears to be holding a bag filled with various items, likely supplies for the children mentioned in the text.

ロダの近況

伊達記

高血压やむくみを防ぐ  
カリウム、糖質の分解  
を助けるビタミンB1、  
便通を促し、体内のコレ  
ステロールや毒素を排  
泄する食物纖維などが  
豊富に含まれています。

今年一月の魚の孵化の成功で魚の養殖のめどがつき、中田所長はレダの気候、土壤に適した作物として里芋の栽培に力を注いでおります。里芋（さといも）の主成分はでんぶん質であるが、水分が多いので芋類の中では低カロリーである。里芋独特のぬめりは、水溶性食物纖維であるガラクタンとムチンによるもので、炭水化物とたんぱく質の結合したものである。ガラクタンは、脳細胞を活性化させ痴呆やボケを予防する効果があり、免疫性も高め、がんの発生・進行を防ぎ、風邪の予防にも働く成分である。さらに消化を促進する作用もあり、整腸と便秘の解消に大変効果的だ。ムチンは、体内に入るとグルクロ酸に変わり、胃や腸壁の潰瘍を予防し肝臓を強化する働きがあり、たんぱく質の消化吸収を助ける作用や、滋養強壮作用もある。また里芋には、体内の余分なナトリウム（塩分）



ドロ沼となつた池の水抜きをして稚魚を入れる準備を一人でする青木指導員。三七度を超える中での作業は大変厳しい。



# 南北米福地開発協会会員募集を勧めてください!!

当協会は1999年9月に設立され、今まで13年の間、世界最大の湿地帯パンタナールの生態系保全と南米パラグアイチャコ地方のインディヘナの村へ教育支援（学校建設、植樹による環境整備等）を中心に行い、地域の市、村ばかりでなく、国の大統領からも感謝されるようになっています。

インディヘナの村の生活環境は清潔な水も、電気もなく、一日に3度の食事も取ることができないのが現実です。解決の道は単に食料、物資の援助によってなされるのではなく、長い期間をかけ、子供たちの教育を進めることが重要であると教育改善に力を注いで来ました。

また、先進国である日本の青年たちに世界の現状を直接理解してもらうため、毎年、国際協力青年奉仕隊を組織し、今まで12回、現地に派遣してきました。

現地で活動した青年、学生たちは世界の現実に目覚め、社会貢献への道を歩み始めています。

南北米福地開発協会では発展途上国への支援は政府として努力することは勿論ですが民間団体として草の根の実践がより必要であり、多くの皆様が参加して下さり、世界の国々の平準化に寄与できればと念願しております。今後も、当協会は継続的に日本の青年を現地に送り、南米での支援活動を継続するとともに、パラグアイでの経験を下に、日本においても地球環境保全をテーマに教育啓蒙活動ならびに日本各地で植樹活動を行ってまいります。

是非、会員の皆様が会員募集をしてくださり、当会が日本と世界により一層貢献できるよう尽力下さるようよろしくお願ひいたします。

## 南北米福地開発協会会員特典

毎月 パンタナール通信を送付

日本とパンタナールエコツアーの案内

年3-4回のピースライフセミナーへの案内

講演会へのご招待

会員申請用紙は事務局にありますのでご連絡ください。

# 南北米福地開発協会

会員募集集中

地球家族として  
自然を守りましょう

南米、パラグアイ、パンタナール地域  
へのエコツアーならびに植林活動  
を通じて生態系の維持と強化を促進し、その  
地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを  
訴えています。

会費は月500円、  
毎月、パンタナール通信を送ります。  
また、各種のセミナー、エコツアー等の  
案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局  
〒213-0011  
神奈川県川崎市高津区  
溝口三-11-15  
岩崎ビル4F

電話 ○四四一八二一九一一八二一  
F a x ○四四一八二一九一一八二一  
会費納入 ○一八〇一七七六八〇四七一  
郵便口座 八二九一二八二〇

メール office@asd-nsa.jp  
ホームページ <http://www.asd-nsa.jp>